

奥玉婦人会の奉仕活動 維新館の清掃 R6.12.21

奥玉婦人会（藤野悦子会長）の年間計画の一つ、奉仕活動が12月21日に行われました。この日は、各地区の役員等9名が奥玉市民センターに集合し、隣接する千厩維新館の床フロアやトイレ、器具庫、物置などの清掃奉仕作業が行われました。

奥玉婦人会は、1月19日に会員の意向調査に基づく解散総会を予定しており、参加者からは「奉仕活動も今回が最後になるかも」との声も聞かれました。



奉仕活動の参加者（維新館内）

千厩ソフトスポ少のボランティア活動 おくらんど清掃 R6.12.21



バッティング練習（維新館内）

千厩ソフトボールスポーツ少年団の皆さんは、12月21日に年末の練習終了後に保護者と一緒ボランティア活動として、定期練習で使用している千厩おくらんどの室内や周辺の清掃活動を行いました。

千厩、一関、東山、藤沢の広域メンバーで構成している少年団員は現在14名（内6年生8名）で、チーム編成は年々課題となってきました。



清掃ボランティア（おくらんど）

「あらたま作品展」来場者アンケート結果・当選者

「あらたま作品展」の来場者アンケート結果は次の通りでした。

- ◆作品展は ①大変良かった59、②普通5、③物足りなかった0、無記入6
- ◆良かった作品は ①パッチワーク48、②三浦哲朗木彫展34、③千葉喜代一盆栽展34、④各自治会展29、⑤佐藤佐岐陶芸展24、⑥市民講座作品19、⑦老人クラブ作品15など【来場者のうち、アンケート記入者数70名】



作品展の開場式

アンケート記入者の中から厳正な抽選の結果、次の5名の方々に景品（もち米3kg）をお届けしました。

- ◇千葉とみ子様（上ノ山）◇吉田タキ子様（吉立）◇藤野悦子様（三沢）
- ◇佐藤三郎様（竹ノ下）◇小野寺敦子様（熊ノ沢）～ご協力ありがとうございました。

令和7年1月中旬～2月初旬の主な行事予定

日	曜日	時間	行事内容	場所等
15	水	9:30	あらたまウォーキング⑨「町下～曾慶～立石沢コース」	町下会館集合
18	土	14:00	令和7年奥玉地区新年交賀会	マリアーヂュ
24	金	19:00	奥玉体育協会運営委員会③	奥玉市民センター
28	火	13:30	地域協働体役員研修	川崎市民センター研修室
31	金	8:40	奥玉老人クラブ連合会お元気講座	奥玉市民センター
31	金	9:50	第24回奥玉老人クラブ連合会お茶ばたきカルタ大会	奥玉市民センター
2	日	9:00	寺崎前・町下・天ヶ森の各地区合同通常総会	各地区集会所

は務年月で（昭和）ある世界に活躍を！
 の本一報の情願の息を！
 よも地願の息を！
 りく域の情願の息を！
 おの情願の息を！
 願の息を！
 いの息を！
 いたの息を！
 したの息を！
 すの息を！
 （達）

編集後記
 達

おきたま歳時記 襟巻 マフラー 冬帽子

年末のある日、市民センター前庭の二宮金次郎像に毛糸の襟巻と冬帽子が着せてありました。毎日の散歩コースでこの像の前を訪れる方が、寒さを見かねて着せてあげたのでしょうか。
 この銅像は、昭和16年に横須賀市の的場秀郎（まとは ひでお）氏より母校（当時の奥玉国民学校）に寄贈されたもので、昭和52年の小学校の新築移転に伴い宿下地内に移設され、平成30年の閉校により現在地に「里帰り」再移設されたもの。
 卒業生や地区民の記憶、思い出に残る「心の文化財」として地域の皆さんに親しまれています。



“笑顔と自然”あふれる奥玉 ～守り・創り・育てる～ 奥玉振興協議会だより

第93号
 令和7年1月10日
 発行：奥玉振興協議会
 事務局*奥玉市民センター内
 電話：56-2950
 FAX：56-2906

新年おめでとうございます 本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和7年は雪のない穏やかな新年を迎えました。昨年中は当協議会の主要事業である第52回奥玉ふるさとまつり、第62回奥玉地区民芸大会など関係各位の絶大なるご協力のもと、それぞれアイデアや工夫を凝らしながら盛会裏に継続開催できました。

また、地域協働体として公の施設の指定管理業務も7年目を迎えており、市民センターの各種事業の企画・運営をはじめ施設の維持管理、飛ヶ森キャンプ場の利用促進などにも職員一丸となり継続的に取り組んでいます。

「再生」や「変革」の象徴と言われる巳年。今年も『“笑顔と自然”あふれる奥玉～守り・創り・育てる』のスローガンのもと、これまでの実績や反省を踏まえながら「学びと地域づくり」活動の一層の推進に新たな気持ちで取り組んで参りますので、地区民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年新春 奥玉振興協議会 会長 小野寺 明
 奥玉市民センター所長 村上 達男 （役員・事務局員一同）



新春探訪 令和7年元日、地域の寺社や名所、旧跡などを探訪しました



① 八坂神社 ② 林ノ沢観音堂 ③ 櫻森神社～④ 橋城跡 ⑤ 八幡神社・午生連館

⑥ 玉洞山地蔵院 ⑦ 青臺山安養寺 ⑧ 地蔵田「田の神様と地蔵様」 ⑬⑭ 室根神社（本宮・新宮）

⑨ 立願山神社 ⑩ 荒沢不動明王・首無し不動 ⑪ 室根参詣古道 ⑫ 室根神社「三十三観音」 ⑮ 室根山展望台～山頂

新年の神社やお寺は、みな清々しい佇まいで 淑気に満ちていました。①～⑧ 室根参詣古道の入り口、立願山神社や荒沢不動尊は、雪に閉ざされ、枯淡の趣き。⑨～⑪ 雪のある室根神社や室根山には、家族連れの初詣客などが訪れていました。⑫～⑮（達）

第13回 おくたま農産収穫感謝祭 アトラクションもにぎやかに R6.12.8



小野寺勝義組合長

農事組合法人おくたま農産（小野寺勝義代表理事組合長）の第13回収穫感謝祭が、12月8日に農産事務所の特設会場で組合員など約120人の参加で開かれました。

小野寺組合長は、「今年も組合員の皆さんの協力で収穫感謝祭を開催することが出来た。本日は楽しみながら交流や懇親を深めて欲しい」と挨拶。市長や農業改良普及センター所長、いわて平泉農協組合長の祝辞の後、全員で乾杯しました。

参加者には、三種類のつきたての餅や野菜たっぷりの豚汁などが振る舞われ、互いに杯を傾けながら一年を振り返り、アトラクションの演奏や踊りなどを楽しんでいました。

この日のアトラクションは、花貫伊勢神楽保存会のほか宝築、中日向、三沢、町下、花貫の各自治会チームによるダンスや踊り、朗読、スコップ三味線が披露され、会場からは声援やアンコールの声がかかるなど大いに盛り上がりを見せていました。



アトラクション出演（左より花貫伊勢神楽保存会、宝築、花貫、三沢、町下、中日向の各自治会チームの皆さん）

安全安心部会 市民センターに安全安心イルミネーション点灯 R6.12.10

今年度も奥玉市民センター前庭にはイルミネーションが点灯中です。当協議会の安全安心部会（小野寺公子部会長）の提案で、令和3年から始まった「地域の安全・安心」を願う取り組みは、少しずつ拡充し4年目を迎えました。

12月10日の運営委員会・生涯学習推進員合同会議の終了後、全員前庭に集合し、小野寺部会長の合図で点灯式を行いました。

年末年始の地域安全運動とも連携したこのイルミネーションは、1月下旬まで点灯されています。

（写真は役員等で行った点灯式）



天ヶ森老人クラブ ひなた苑や市民センターに門松設置 R6.12.24

天ヶ森老人クラブ（菅原一郎会長）では、例年この時期に行っている奉仕活動として正月飾り「門松」と「しめ縄」を制作し、12月24日に天ヶ森会館のほか特養老人ホーム「ひなた苑」と奥玉市民センターの三箇所に設置しました。

この日は会員9名が参加し、門松用に切りそろえた松や竹、梅、南天などの材料を会館に持ち寄り、地元「地蔵田」の新藁で編んだ菰や縄で結わえ、手際よく門松やしめ縄に仕上げていました。

ひなた苑では、職員や入所者の皆さんが車椅子で見守る中、玄関付近に設置し、「元気で新年をお迎えください」と声を掛け一緒に記念写真を撮影。その後、奥玉市民センターでも玄関に門松としめ縄を設置し、職員と懇談し記念撮影を行いました。



老人クラブの参加メンバー（天ヶ森会館）



事務局職員と共に（奥玉市民センター）



入所者の皆さんと一緒に（ひなた苑）

NPO響生のひびきクリスマス会 ゲームやダンス R6.12.14

奥玉で放課後等デイサービス「リトル・ピース」を運営するNPO法人響生（ひびき）（杉山浩理事長）の「2024年ひびきクリスマス会」が12月14日に同施設ホールで約40人が参加して開かれました。

今回も感染症対策などに配慮し、飲食は無しで行われましたが、子どもたちや保護者、スタッフが一緒になって「音あそび（たまごマラカス）」のほか「ジェスチャー問題」「トイレットペーパー積み」の各ゲームや「ジングルベルロック」「プリンパンパン」「ようかい体操」などのダンスで楽しい時間を過ごしました。

その後、子どもたちの一番の楽しみ「サンタさん登場」でホール内は最高潮。みんな大喜びで素敵なプレゼントを受け取り、今年はフランスのパリからやって来たというサンタさんと一緒に記念写真に納まっていました。



お揃いの衣装「ひびきスタッフ」



「音あそび（たまごマラカス）」

年末年始の特別警戒活動 奥玉地区の出発式と点灯式 R6.12.16

奥玉地区では、「年末年始における地域安全運動」及び「冬の交通事故防止県民運動」の期間に合わせ、運動初日の12月16日に防犯協会や交通安全協会等の関係者15名ほどが奥玉駐在所に集い、特別警戒活動の出発式を行った後に安全安心イルミネーションを点灯しました。

防犯パトロール隊（菅野孝隊長）では、年末年始の運動期間中、延べ7日間、奥玉駐在所と連携し青色防犯特別パトロール活動を展開したほか、防犯協会役員を中心に啓発のぼり旗の設置をはじめ防犯灯の点検や地区巡回活動などを行いました。最終日の1月3日にはパトロール隊員全員が集合し、運動期間中の情報交換を兼ね終了式を行いました。

また、交通安全協会奥玉分会（藤原幸夫分会長）では「冬道の安全運転・飲酒運転の根絶」など啓発活動に取り組みました。



来賓・関係者による点灯式



奥玉駐在所のイルミネーション

奥玉地元学研究会の望年会 果報だんごで1年の振り返り R6.12.10

奥玉地元学研究会（金安信会長）の12月定例会は、望年会を兼ねて行われ、一年の活動の振り返りとして、会員手作りの果報だんごを食べながら意見交換や懇談が行われました。

会員一人ひとりから、この一年の研究内容の報告のほか、東北歴史博物館への移動研修会（10月）や各定例会の感想などの発言があり、そのまま各会員の活動内容として記録保存されました。

また、お楽しみ抽選会なども行われ次年度への抱負なども語られていました。



特製の「果報だんご」



「お楽しみ抽選会」

宝築自治会 親睦旅行・市民センター出前講座 千貫石温泉 R6.12.17

宝築自治会（吉田進会長）の親睦旅行が12月17日に千貫石温泉「湯元東館」で会員等18名が参加して開かれました。

奥玉市民センターからも村上達男所長が参加し、出前講座として『協働のまちづくり』と題し、「一関地域新ごみ処理施設・最終処分場の整備」「旧奥玉小学校跡地の利活用」「飛ヶ森キャンプ場のトイレと水」など6項目について講話が行われ、参加者からは、講話に対する感想のほか、職員への激励や感謝の言葉もありました。

送迎バスが1時間以上遅れるというハプニングもありましたが、懇親・交流の中では宝築地区で工事が進む圃場整備や県道の草刈り事業などについて意見交換が行われていました。



親睦旅行の参加者（江刺ふるさと市場）